



GCR@SEAN 認定講座

子どもの育ちのなかの人権を保障するために、ジェンダーの視点を学び、大人の責任力を高めるプログラムです。

特徴

昨今、いじめ・虐待・デートDV・自殺など、子どもたちが被害者や加害者となる事件が後を絶ちません。その背景に、ジェンダーの問題が影響していることがあります。ジェンダーとは社会的な性のありようのことで、わたしたちは生まれた瞬間から、性役割による期待を周囲の大人たちより受け成長していきます。それが「男なら泣くな、弱音を吐くな」「女は生意気言うな」といった押し付けとなる場合があります。自然にわき起こってくる感情や意欲が否定され、自分やお友だちの存在意義を見失ってしまうことが暴力へとつながってしまうからです。

ジェンダーを理解することは、子どもたちの人権を守り、可能性を最大限に引き出すためには必要不可欠です。この講座を通しジェンダーの視点を学び、次世代の子どもへの大人の責任力を高めることで、子どものエンパワメントをめざします。

カリキュラムの内容

カリキュラムは4つのStepで構成されています。(各3時間)
 トレーナー 遠矢 家永子 (NPO 法人 SEAN 教育部門「G-Free」代表)

Step1

- ① オリエンテーション
- ② 法で定められた人権とは
 - ・命の存続(安心・安全・居場所)
 - ・アイデンティティの確立(わたしがわたしであること)
 - ・幸福追求(エンパワー・社会から必要とされること)
- ③ 子どもの権利条約の概要
- ④ 子どもと大人の力関係と大人の責任
- ⑤ 大人が子どもの育ちのなかで保障すべきこと

(子どもの5つの権利)

- ・存在意義を認められる権利
- ・知る権利
- ・考える権利
- ・選ぶ権利
- ・結果を引き受ける権利

Step2

- ⑥ ふりかえり
- ⑦ ジェンダーとは
 - 社会的・文化的な性のありよう
- ⑧ 子どもの多様なセクシュアリティ
 - 性別は単純に二分化できない
- ⑨ ジェンダーによって生じる育ちのなかの問題

- ・「男らしさ」の暴力性・加害性と自立性
- ・「女らしさ」の非暴力性・被害性と依存性
- ・ジェンダー規範から人権規範へ

ねらい

- I. 学ぶ……子どもに保障すべき5つの権利と大人の責任
- II. 気づく……育ちのなかのジェンダー
- III. 考える……子どもをエンパワメント*2する関わり

子どもの育ちへの理解を深め、大人の責任力を高め、子どもをエンパワメントする関わり方を身につける

*2 エンパワメント ありのままの生まれもつ力を発揮すること

ぜひ受講していただきたい方

- ・子育てを手助けしている人、したい人
- ・子どもと関わりたい人
- ・子どもの人権を守る活動をしている人
- ・教育関係者・スクールカウンセラー
- ・保育従事者・民生委員・児童委員
- ・NPO 関係者・子育て中の保護者 など

受講資格

資格・学歴・国籍・保育経験の有無は問いません。
 子どもと関わる18歳以上の方なら
 どなたでも受講できます。

Step3

- ⑩ ふりかえり
- ⑪ 「感情」「思考」「行動」各々に関わるジェンダーの問題
- ⑫ 「男は強く」「女はやさしく」と暴力の連鎖

- ・暴力が向かう3つの相手
相手・弱者・自分
- ・非暴力の解決方法
感情への手当て
相手との関係、境界線を主体的に選びなおす
- ・「男は強く、女はやさしく」から
「人として強くやさしく」へ

Step4

- ⑬ 子どものエンパワメントとは
- ⑭ 子どもの育ちを支えるには
- ⑮ 大人の責任力を高める第一歩
- ⑯ ふりかえり

★12時間の講座を受講された方には、
 修了認定証を発行します。

